

△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					△				
△					△				
適用規格									
定格	使用温度範囲	-25℃ ~ +85℃			保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃			
	電圧	AC 100 V , DC 140 V							
	電流	2 A			適合ケーブル	MAX φ7			
性能									
	項目	試験方法			規格			QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。			○	○
	表示	目視にて確認する。						○	○
電気的性能	接触抵抗	単位コネクタを DC 1 A で測定する。			10 mΩ以下			○	○
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。			1000MΩ以上			○	○
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	○
機械的性能	コネクタの挿抜力	φ0.53±0.003 鋼製ピンで測定する。			挿抜力 0.15 ~ 1.2 N			○	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。但し、ロック機構を含む。			挿抜力 50 N以下			○	—
	繰返し動作	1000 回の抜き差しを行う。			単位コネクタの接触抵抗: 15 mΩ以下			○	—
	耐振性	周波数 10~ 55 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 — m/s ² で3方向各2時間試験する。			①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² , 持続時間11ms 正弦半波3方向各3回試験する。			①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—
環境性能	定常状態の耐湿性	温度 40 °C, 湿度90~95 %中に96時間放置する。			①絶縁抵抗: 5 MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 50 MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 10~15 → 30 → 10~15 分 を5サイクル試験する。			①絶縁抵抗: 1000MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと			○	—
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。			はなはだしい腐食がないこと。			○	—
	耐熱性	温度 +85 °C中に96時間放置する。			破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
	耐寒性	温度 -55 °C中に96時間放置する。			破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+380±10℃で3~4秒間ソルダ・ホット部へ当てる。			外観の変形及びコネクタなどに著しいガタがないこと。			○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で2~3秒間のはんだ付けを行う。			はんだ付け面がはんだでぬれていること。また、はんだの小塊がないこと。			○	—
備考					製図	設計	検図	承認	出図
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。									
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目									
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.		製品規格表			製品名 HR10-10P-12S (73)				
旧CL CL		図番 SLC4-007761-73			製品コード CL110-0026-0-73			1 1	

